

(14)その他

大きな交差点の角、性的商品（ピンク用品）のディスプレイが店舗全面（ビル）に見える。年齢に関係なく、刺激的な光景が24時間嫌でも目に入ってくる（夜間も照明がつきっぱなし）。青少年にとっても有害と思われる。街美・環境面から自粛を望む。

（愛知県・60代・男性）

青少年育成地域委員会では行事をやめて、親、育成者、学校など話し合いを中心に進める。親が子供の意見をまとめて文書にする。子供会などの際に、アンケートや意見を採用すること。

（東京都・50代・男性）

未成年者の携帯保持。子供が契約者になってしまうと、迷惑メールの設定等、諸手続きが親でもできなくなるので、未成年はそもそも契約者になれないように携帯電話契約時のシステムを変えるべきだと思う。未成年の携帯は基本的に親が契約者となり、一切の責任を親が負うこととする。と同時に、契約時にきちんと有害サイト等についてショップは説明の義務を負うべきと思う。青少年対策委員会の夜間・土日等、ゲームセンターやカラオケボックス、繁華街などでの見回りがあると聞いていますが、PTA活動において、義務で役員になった方が多いと思われるので、どこまで見てくださっているかは不明です。学校からのお手紙等、上から目線の情報では、怖さを知って欲しい子を持つ家庭ほど、親まで届かない場合が多いようです。子供たちに人気があるテレビ番組の合間に、アニメーションやショートムービー等で、視覚に訴えてみると、効果的ではないかと思われます。危険性をどんどんオープンに世の中に広めて、小さい子も自然に怖さを知ることができると嬉しいです。責任センターを置き、徹底する必要がある。

（新潟県・40代・女性）

青少年に対する罰則を今より重くする。生活環境を変えていくことが必要だと思われる。例えば家庭と学校のつながり、単位的に言えば個人、家庭、地域、国との連絡の徹底、警察の行動をもっとこまめに行うこと。青少年が、もっと気楽に何でも話せる場所などを設置する必要がある。青少年にとって有害店などの取り締まりの強化。自転車に青少年パトロールという看板をつけているのをみかけます。町内単位で街などを見回りしているのを見かけます。地方自治体が何を行っているのか、全然みえません。もっとアピールをすると良いと思います。

（愛知県・50代・男性）

少年補導員として警察署と生活安全課長に地域の情報を提供している。又、地域の安全パトロールを実施し、その状況などを知る。ひったくり（少年によるひったくり事件が多い）と暴走行為。無免許によるバイク運転。高校生（地元）と地域防犯パトロール隊、少年補導員（警察）と一緒に「薬物資料・防犯資料」を駅前、デパートの前などで配布。各中・高校生の授業の一旦としてこうした事件、刑罰などの現状を知らせることが望ましいと思う。

（千葉県・50代・女性）

一昨年、当時中学3年の息子から聞いた話です。同じ学年の女子で、自分の下着を売ってお金にしている話で、ある場所（はっきりしたことはわかりません）に行くと、下着の売り買いの仲介をしている男性がいると聞きました。下着を売ることが、とても悪いことだと思っていないのでは？ということ。親が気づいていない（あるいは無関心）ということ。そして、“下着を売ってお金にする”と言うことが様々な犯罪に繋がっていくかもしれないということ。それはとても悪いことだと息子と話して終わってしまいました。行政や業界以前の家庭の問題かなと言う気がします。（自分の子に対し、過干渉は良くないにしても、生活を把握しなければいけないと）。

（北海道・50代・女性）

携帯電話での有害サイト閲覧。携帯電話にフィルタリングを。保護育成委員による地域巡回と指導。コンビニ等での成人向け図書やタバコ等の指導。祭り等非行が考えられる場所等の巡回。有害な本等の自動販売機の撤去。学校から家庭、地域への啓発活動。学校での防犯教室、携帯電話使用のマナー等の講習会。情報を共有し対策を前に進めるという意味では有効ではないでしょうか。収集した情報の共有だけでなく専門家によるもっと専門的な情報の提供と共有があれば対応が進むように思うが（やっているのかもしれませんが）、実際に効果のあった方法の共有があれば効果的になるように思う。地域の行事に青少年を参加出来るよう心がける。

（秋田県・40代・男性）

保護者からは有害環境を子供にどのように話したらいいかわからないと聞きます。親の不安や戸惑いに答えるようなことがあればいいのに。標語のポスター。注意喚起のポスター。大人が子供に関わり方や注意する機会を作ることが大事。

（大阪府・20代・女性）

相手が特定できない状況のコミュニケーション。未成年も誰でも簡単に入れること。自由に音楽、踊る、演劇、サークル活動、ボード等できる様な場が公共で、身近な所にあちこちとあるといいのではないかと思います。規制するだけでなく、発散・発現できる場を設け、仕掛けるのも大事ではないでしょうか。

(茨城県・20代・女性)

午前11時頃、スーパー、ホームセンターと並ぶパチンコ屋の駐車場。女子高校生(私立)がスカートをたくし上げ、つけまつげ、化粧をして携帯電話を持ってパチンコ屋に出入りする男性にアイコンタクトを繰り返していた。学校に登校していない子どもたちへの声かけ、関係団体との話し合い、声かけの協力を仰ぐ。あきらめず、継続して啓蒙活動を行う。

(福島県・60代・女性)

有害情報の発信源の法的摘発を強化する。法改正が必要となる場合もあるだろうが、積極的に対処することが必要。子供の登、下校時、地域住民の挨拶、声掛け運動、地域コミュニティー町内会などのパトロールなど。有害情報を減少させることは必要だが、根絶は困難であり、青少年をいい環境で成長させる訳に行かない。人間教育が必要である。

(広島県・50代・男性)

保護観察中の少年から聞いている事で、夜遅くなれば友達の家泊るのが普通のような感覚になっている。親達は自分の子供が友達から見放されるのが怖いので、必要以上に友達に気遣いをして、子供達の生活を駄目にしてている。両親と話し合い、他人の子達を宿泊させたら家に帰るまで全責任がある事を話し、必要以上に子達を泊めない、泊めるときは先方の親に連絡するように。青少年の21時以後の深夜徘徊をもう少し厳しく取り締まってほしい。

(徳島県・60代・男性)

地域への帰属性が失われつつある都会社会においては地域が無能化している。家庭教育を人任せにしないことが必要。お祭り、少年野球チーム、餅つき大会の参加者は大人が多い。内閣府は机上ではなく、実際を知ってからアンケートしたほうがいい。これだけ規制されてもまだ未成年が煙草を手に入れることができる。

(東京都・70代・男性)

早朝、河川敷の公園で犬を連れて散歩しているとき、ポルノ雑誌が10冊位捨ててあった。ポルノ雑誌が捨ててある場所は、小・中学生がサッカー、野球を練習している。又、多くの子供が遊びに来ているので雑誌を見るとよくない。家に持ち帰ってゴミの収集日に出した。業界に対してきつく法的に規制することを望む。

(徳島県・60代・男性)

えげつない写真や記事を見て(例えばパチンコ情報誌等)どうしてここまで人を騙す事が平気であったり、この様な記事が書けるのだろうかと人の心を疑ってしまう。企業の利益の為には全ての事が許されるのだろうか。テレビのお笑い番組等を見ていると、全ての事が許される世界の到来を感じています。ブラウン管にパンツ姿で登場することばかり、髪スタイルも同じ。モラルなんて全くなし。何でもありの社会を見ながら現代の子供達は成長している。もっと社会を形成している大人の自覚がある。モラルを高めるべきである。市場経済の世の中なので利益追求を崩すのは難しいのではないのでしょうか。(毎日の様に人が殺されていく。心は麻痺している)。

(徳島県・50代・男性)

コンビニにある雑誌コーナー・官能・携帯小説及び、官能小説の漫画版の販売。家庭におけるインターネット(有害サイト)・走行中の自家用車内からのゴミ捨て。コンビニエンスストアにある雑誌コーナーでは、思春期の子供達への刺激として万引きや夜間は徘徊に結びつく。官能・携帯小説及び官能小説の漫画版の販売では、誰でも買えるので、子供のなかでは貸し借りが横行している。家庭におけるインターネット(有害サイト)、青少年の溜まり場へと発展している。走行中の自家用車内からのごみ捨ては、以前よりは良くなっているが、未だに平気でポイすてをしている者を見受ける。青少年育成会の活動として、コンビニの場合は、青少年にも目に付きやすく、万引きしやすい環境にもあるので、コンビニへの協力や夜のお出かけに対する家庭への呼びかけを行っている。青少年の健全育成の為に地域、行政、業界の取り組みが必要である。(可能な範囲内での法的整備が求められる)。

(茨城県・50代・女性)

コンビニ等に置いてあるアダルト冊子等(成人向けの雑誌類)。今日、少年、少女の売春が多々、新聞などで報道されております。大人の規範意識の低下が、青少年の変質的行動を起こさせていると思っております。現在、環境診断を行っており、その地域ごとに有害なものを地図に明記している。現在、テレビ・携帯・インターネット・雑誌などで有害とされるものが氾濫しすぎて、国自体も日常的になれすぎて、今マヒ状態にあると思う。表

面だけ身づくろいをし、中身はカラッポの無責任な会社・政治家・大人が多すぎるのでは。青少年の指導も大事ですが、製造・販売・出版社・その他の関連企業の指導がもっと必要なのでは。

(鹿児島県・60代・男性)

小・中学生の通学路に低俗な雑誌が開いたまま多数捨てられていた(散乱していた)。裸の写真が見えており、純朴な児童・生徒が目にする事で大きな心の痛手を受ける。雑誌を拾いに行った(あと50M先には小学生が(6人)集団登校して来た)。又、地域の児童・生徒見回り隊の方に通学路の点検をお願いした。売られた低俗な雑誌等の回収(行政よりも地域や業界の責任で)。

(福岡県・50代・男性)

朝の通勤通学の電車内にて。青少年世代の親・祖父世代の男性が朝からエロ雑誌・エロ新聞・エロ漫画を平気で読んでいる。隣に座っていれば内容は見えるはず。あのような読み物を朝から平気で公然と公衆の面前で平気で読んでいる姿は有害以外の何物でもない!こんな大人を尊敬できるか!?こんな国が他にいいのか!。ああいう読み物を駅で販売するのは止めたほうがいいと思う。

(東京都・30代・女性)

暴走族の危険な走行光景を英雄視する若者感覚を見て憂慮する。テレビドラマですぐ「キレル・むかつく・殴る・殺す」等、これらのシーンはすぐ同化する傾向がある。作成者側は考慮すべき。自分の子供に対しては厳しく躾けたつもり。町にカメラの設置をイギリス並みにする。個人のプライバシーを守ることよりもっと重要と考える。

(愛知県・60代・男性)

パソコンを使っているとすべての情報が入ってくる。その中には有害情報もあり、中・高校生の目に触れる。この情報について、親達に啓発しなければならないと思った。このことは問題だということを、とことん、話あうことが重要。たとえばCAPのように、ルール、規範意識、安全対策などの詰め込みは不安を煽るだけ。もっともっと楽しい思いをさせよう。人々とのかわりが楽しい思いを感じてほしい。

(東京都・50代・男性)

親への有害環境への認知を図るのが大切。周りにあふれる有害情報への知識不足。自主防犯活動者に対して、新しい有害環境の情報を提供している（市の防犯協会）。地域に「保護司」の様な立場を持つ未然に有害を防ぐ委員を配置し、研修などでスキルを持ってもらい、小学校区の住民や教師、保護者そして子どもだちに正しい情報提供と教育ができる環境づくりが必要と考える。NPO はどの役割を担うことができても「立場が」住民らにとってはあいまいで、活動しにくい。

（北海道・30代・女性）

長野市教育委員会では、青少年育成委員を組織し、定期的にゲームセンター、ビデオ店などを巡回し指導しています。各学校の生徒指導主事が長期休みなどを中心に巡回指導しています。業界団体の方々にしっかり青少年健全育成の意識を持っていただき、励んでもらえるように啓発して欲しいと思います。

（長野県・50代・男性）

昨年の4月、近隣のバス停から駅までバスに乗ろうと停留所に行った。バス停前のラーメン屋が異様な店に変身していた。ドア一枚ぐらいの開いたままの入り口、迷路のように先は見えない。看板には、DVD等の販売機が設置されていることが読み取れ、いかがわしい物品であることが想像に難しくなかった。小学校1校、中学校2校、高校1校の生徒が乗り降りするバス停前に、いかがわしい店舗があることが変だと思った。地元町会長に好ましい状態でないことを連絡した（止める手段を持たない、との返事）。地元教委の青少年育成担当課に連絡した（直ちに調査する旨の回答。後日、法に触れないということの回答）。一般人の感覚と行政サイドの方との感覚に相当の距離があることを感じた。

（東京都・60代・男性）

"白いポストの回収に立ちあった時、AV。ビニール本等、有害図書の多さに驚きました。これ以外にもずいぶん出回っているのでは・・・と思います。行政や学校、PTA等が運動して対応していただきたい。

（高知県・60代・男性）

インターネットのメールに迷惑メール（アダルト）が12月より入る様になり、多い時は20～50件位入る為、子供達がパソコンを使用して見てしまった。自動販売機（アダルト専門）が国道から少し入った所にあり、高校生が出入りしていた。・メールの内容が人妻の誘惑シーンや裸の写真入りがあり、子供に悪影響があると思い、メールアドレスを変更した・

自動販売機のそばにエロ本やビデオが放置してあり、警察に報告し、現在は撤去（業者）した。自販機（アダルト専用）の業者へ電話したり、少年補導員等でその近くを巡回した。

（岐阜県・60代・男性）

健全育成条例にもとづく「青少年健全育成協力員」ですが、本やWEB上での有害情報が多い。家庭や漫画喫茶店、インターネットカフェ、等でのフィルタリングなどの対策の遅れが目につく。市の青少年問題協議会委員、青少年育成会会長の立場から日頃子供や地域の大人に対し健全育成活動を行っている。。政には今回の様なアンケートや調査等がどのように生かされるのか、我々の様な青少年の健全育成団体に具体的に示されたい、また、東京都は制度を形骸化させることなく頑張っていたきたい。健全育成活動を行っている諸団体に対してもっと理解を示し支援していただきたい。

（東京都・60代・男性）

保護者（親）は「心配だ心配だ」とは言っているが、具体的なことはあまりイメージできていないのが現状ではないかと思う。現在でも少し実施しているが保護者（親）や地域の大人に対する講習会（危険度やフィルタリングの手法等）を何度も実施していて必要性を感じる。青少年育成市民会議と公民館、学校がタイアップして地域における有害な張り紙の撤去活動をしている（ほとんどなくなっている）。

（福井県・60代・男性）

有害環境や有害情報を青少年の周りからなくすことばかり考えるのではなく、有害環境や有害情報に毅然とした対応ができるようにするためには、青少年には何が必要かを考えるべきです。フィルタリングの導入などは耳にしますが、まだまだ対症療法的な取り組みだけの印象です。青少年のことは、青少年に聴くことが一番だと思います。青少年にアンケートをとる。

（和歌山県・30代・男性）

地区青少年育成協議会による諸活動が行われている。具体例を以下に示す。 ・地区内巡回指導 ・スポーツレクリエーション活動の推進 ・危険箇所調査巡回 ・自治会奉仕作業への参加 ・通学路点検、指導 ・機関紙の発行 ・日常的な行政モニター活動。シルバー人材の活用。地域自治会組織の活性化。規範教育、モラル教育の推進。保護者の親権責任の明確化と厳罰化。

（宮崎県・60代・男性）

青少年の認識を高めないと対応効果が無い。有害環境排除活動を推進し、協力者を増やす。自制能力が不足した人に教育する。家庭団体及び地域意識を啓発する。

(京都府・80代・女性)

警察官による防犯講演を聴いて「出会い系サイト等によって容易に青少年が性犯罪被害者などになったり、掲示板等でいじめに当たるようなことが多数行われていること」を知った。携帯電話のメールやインターネット機能が容易に誰でも使え、メールアドレスやなりすましで名前を隠して利用できる点がもっとも問題であると思う。マナーアップキャンペーン等を通じて、子供達に危険性を訴えると共に「卑怯」なことをしないように指導している。業界に対し 警察捜査や学校の調査に協力すること フィルタリングだけでなく、青少年が卑猥な情報にアクセスできない仕組み なりすまし等匿名で利用できない仕組み。

(和歌山県・60代・男性)

青少年を有害な情報から守ることは大変難しいと思います。どのような規制をかけても、そういった業界の人は規制にかからない方法を考えだしていくからです。だからといって、何もしないのも問題です。一定の規制をかけつつ、保護者や学校、地域で、子供達を守って行くしかないと思います。有害情報についてはこのモニターをきっかけに、気軽に報告できる制度が充実していくと、多くの情報が集まり、規制にも役に立つと考えます。特に地域での取り組みはありませんが、学校ではPTA 役員がお祭りの時、夜遅くまで遊ばないように見回りをしています。

(山梨県・40代・女性)

表現の自由等様々な問題はあると思うが、中・高生向けの携帯電話を開発し、その機種以外は使わせないとか、有害サイトを厳しく取り締まるなど業界団体に対してもっと強制力のある行政指導や法的措置が必要だと思う。有害図書を「見ない見せない読ませない」の三ない運動を家庭に呼びかけたり白ポスト設置場所の周知や活用など家庭環境浄化活動を地域の青少年育成団体が推進している。また、中学校では生徒や保護者を対象にして薬物乱用防止教室や携帯電話インターネットの正しい利用方法について講師を招いて講演会を開催したりしている。表現の自由等様々な問題はあると思うが、中・高生向けの携帯電話を開発し、その機種以外は使わせないとか、有害サイトを厳しく取り締まるなど業界団体に対してもっと強制力のある行政指導や法的措置が必要になってきている。

(香川県・50代・男性)

携帯電話を子どもが持つことにより、子どもの友人関係が把握できていない所があります。青少年は友人次第で、大きく左右される所があり怖い所です。保護者や学校では把握出来ないことが沢山あります。高校生が制服を着て、ホームで喫煙しているシーンも見かけた事がありますが、注意することに関しては躊躇してしまいます。効果的な対策はなかなか難しく、我が家では、電話は固定電話からと言っています。そうする事により、子どもの友人関係が少しは把握できると思ったからです。保護者や地域の人が自転車に「安全パトロール」という紙を貼っています。前かごにつけているので、目立つようになっています。有害環境はまずは家庭からだと思います。何もかもダメと子供に言うと逆効果な感じがします。携帯のフィルタリングも着歌がとれなくて困ると言われたので、解除しました。家庭では適度に指導していきたいと思います。有害環境に関して、ゲームセンター等では未成年は入れないようにする事。お店側が徹底した方が、子どもも諦めがつくのではないのでしょうか。

(埼玉県・20代・女性)

親が日常的に利用するスーパーマーケットやコンビニエンスストアなどでの啓発活動。特に生徒自身が作成したポスターなどによるその周知。“夕方16時や17時頃に公共のアナウンスによる帰宅の徹底周知。夜間、警察官による巡回”。

(埼玉県・20代・女性)

*書店での月刊(まんが)誌：子供用の所に大人用(セックス描写が多用)のものが買える状況にあった。(子供たちがどのような状況におかれているか、調べているときに、書類の多さと、無造作に置かれて誰でも手に取り買える状況にびっくりした)*インターネットによるサイト。題材は小・中・高等学校や子供達が主人公なのに、大人とのセックス描写が多用に描かれている。コミック漫画等もビニールがかかっているが、書名だけをみて、買うようになっているため、題名が過激である。一度入ってしまうとおもしろく奥まで入ってしまい、取り返しのつかない状況になってしまう。大人達がまず知ることが大事と思い学習会を実施、参加。「表現の自由」は大事にしなればいけないが、「子供の成長にとって今何が必要か」少しでも頭の隅に置いてほしい。取り締まることばかりではなく、子供のにとって大事な事「あそび」「体力」「コミュニケーション」に力を入れた、取り組みが行われることを望む。

(宮崎県・60代・女性)